こんぜー新聞
'11.9.No171
発行責任 市岡日出夫
0883-88-5292

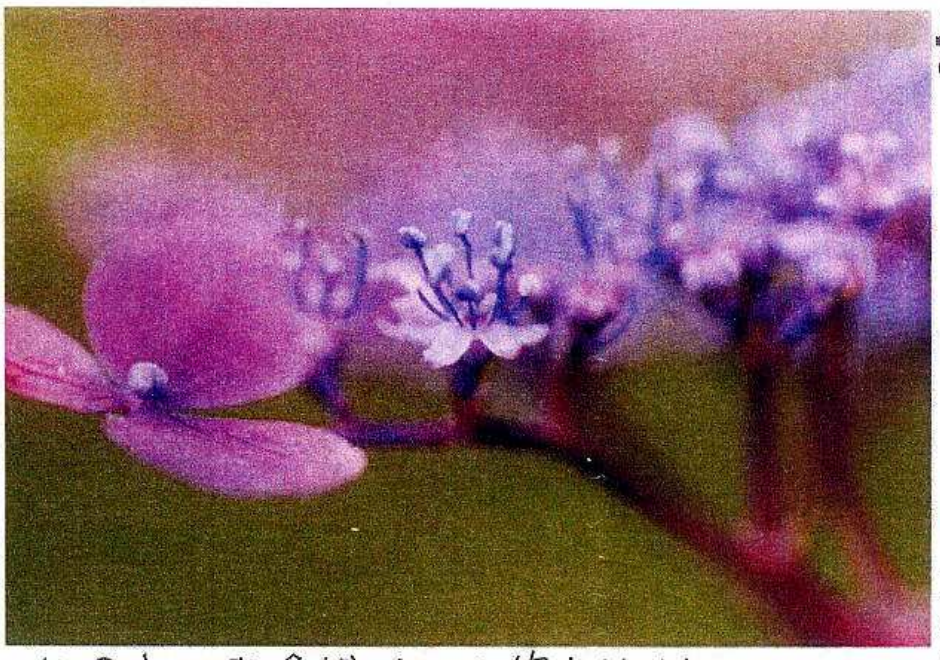
祖谷のJAZZの季節が来る

10月1日(土)～武家屋敷～

異常な季節が続いても、確実に秋に向ってる風が吹きはじめ、ススキの穂も出、風に揺れています。祖谷の秋は、10月のJAZZフェスタIN祖谷レで満喫しましょう。ピアノ、ベース、ビブラフォンが流れて、皆さんの鳴き声とコラボします。ワイン、そして マクロビオティック料理で祖谷の味も満喫できます。また、9月30日には、桜の瀬小学校において、演奏は今日

桜の瀬小～9月30日～

桜は、東祖谷小学校として、統合されますので、これが最後の各小学校での演奏です。



がんばって まる地域おこし協力隊

三好市にも「地域おこし協力隊」六人がやって来ました。それぞれ個性がはっきりしているし、出身地も県外の人が多く、違った目線で見れば、三好市の新たな発見があるかも知れません。

7人の社員だったり、商品開発の経験があったり、映像制作をしていた人、店舗責任者、特技がフランス語と多士済済。これから楽しみが増えて来るとはおもいます。

ただ、気になることもあります。新しい視点、ユニークなとり組み、そして、その行動力を、本当に受け入れる気持、組織体制になって、地域おこし協力隊を受け入れているのだろうかとおもいます。

今までにも、多くの人、大学で研究している先生が訪れ、それぞれの場において、意見を述べて下さり、問題提起をして頂いたけど、ほとんどが会議としての会議であり、実践されているとは言いがたいのです。

問題は、地域おこし協力隊にあるのではなく、受け入れる地域の土壌考え方にあるとおもいます。

単に予算がつくので雇用して、やってないロ実を作るだけで受け入れるのであれば、今までと同じです。

要は、私たち地域の人のやる気かな

ミズタマソウさ

村民も夢見てきたから 活彩 祖谷村あれこれ

活彩祖谷村も独立宣言から六年目を迎え、村民も二百二十人を越えて、にぎわい(ゆったり)活動しています。

とはいっても、ばあば連の皆さんも、「6才年金を重ね、独立時の元気がなくなり畑へも足を運ぶ機会が少なくなりました。その上、山ヤガ芋は猿のエサ場となってしまったり……。

その他の活動も、ただ今休眠中状態。村長の指導力不足か、村民の自覚、やる気の問題か、原因は様々あるでしょうが、夏もすぎて秋になるというのに、いつまで眠るつもりなのだろうか。

そろそろ起きないと、すぐ冬眠の季節が